

大田黒公園周辺地区 景観まちづくりニュース

No.28

●発行日 平成28年11月14日
●電話 3312-2111(代)

●発行 杉並区都市整備部まちづくり推進課まちづくり景観係
●区公式HP <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

幻戯山房(角川庭園)を
景観重要建造物に
指定しました

区では、景観法及び杉並区景観計画(平成28年6月改定)等に基づき、幻戯山房(角川庭園)を、区内で初めての景観重要建造物に指定しました。幻戯山房は、昭和30年に建てられ、俳人で角川書店の創設者である角川源義氏の旧邸宅を、杉並区が寄贈を受けて改修を行ない、平成21年に区立公園として開園しました。また、平成21年11月には国の登録有形文化財に登録されています。

幻戯山房は、杉並区景観計画のモデル地区(大田黒公園周辺地区)内にあり、近傍に点在する、史跡・荻外荘(近衛文麿旧宅)や区立大田黒公園等の景観資源とあわせて、歴史・文化を基調とした景観まちづくりに貢献する建造物です。また、築61年を経過した建築物であり、良好な住宅地として発展してきた荻窪の地域の歴史や文化を象徴する邸宅でもあります。これらを踏まえ、今回、景観重要建造物第1号として指定を行いました。

景観重要建造物・ 景観重要樹木とは

杉並区景観計画では、自然・歴史・文化・生活を現在に伝える歴史的な建築物や樹木を、区の景観を形成する上で重要な要素のひとつであり、区民共有の財産として将来に受け継いでいく貴重な景観資源としています。区では、景観計画に定める下記の基準に基づき、「景観重要建造物」及び「景観重要樹木」の指定を検討していきます。

景観重要建造物指定基準

- 地域の自然、歴史、文化、生活を象徴する、若しくは地域の景観のシンボルとなり、かつ適切な維持管理がなされる目処がある建築物
- 道路その他の公共の場所から容易に眺めることができる建築物
- 築50年以上の建築物
- 杉並区まちづくり景観審議会で認められ、所有者の同意を得た建築物

景観重要樹木指定基準

- 地域の自然、歴史、文化等を象徴する、若しくは地域の景観のシンボルとなり、かつ適切な維持管理がなされる目処がある樹木
- 道路その他の公共の場所から容易に眺めることができる樹木
- 杉並区まちづくり景観審議会で認められ、所有者の同意を得た樹木

※杉並区景観計画から抜粋



▲幻戯山房(角川庭園)
(平成28年9月16日指定)



▲特別展の様子▶



国史跡指定記念特別展 「荻外荘」と近衛文麿

平成28年3月1日に荻外荘(近衛文麿旧宅)が、国の史跡に指定されました。それを記念して郷土博物館及び郷土博物館分館にて、平成28年4月29日(金・祝)から5月29日(日)まで特別展を開催しました。郷土博物館では、「荻窪会談」や「荻外荘会談」の舞台となった「荻外荘」について、郷土博物館分館では、近衛文麿と家族の思い出などについて、展示を行いました。

特別展は、本館・分館合わせて約六千名のお客様が来場され、皆様の関心の高さがうかがえました。また、講演会や荻外荘限定公開などの企画にも多くご参加いただき、興味深く解説などを聞かれました。お客様アンケートからは、「当時の理解が進んだ」、「より身近に感じられた」などのご意見がありました。

大田黒公園周辺地区 景観まちづくりニュース

No.31

●発行日 平成31年3月15日
●電話 03-3312-2111(代)

●発行 杉並区都市整備部みどり公園課みどりの計画係
●区公式HP <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

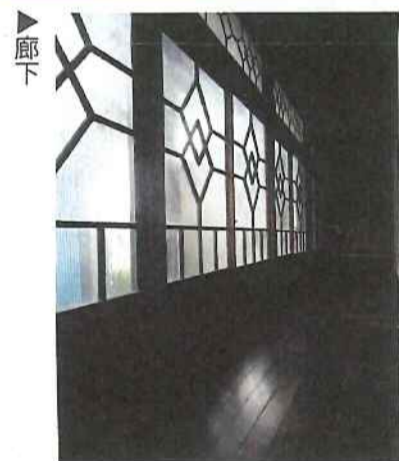
豊島区内に移築され、
創建当時のままの荻外荘
（伊東忠太設計の邸宅建築）

平成28年に国の史跡に指定された荻外荘は、大正天皇の侍医を務めた入澤達吉が築地本願寺等を手掛けた建築家伊東忠太に設計を依頼して、昭和2年に建てた邸宅建築です。建物の外観は和風ですが、内部は中国風の装飾など伊東ならではの独特な意匠、空間構成が見られます。戦前に内閣総理大臣を3度務めた政治家近衛文麿はこの地を気に入り昭和12年に入澤より荻外荘を譲り受けました。近衛は内閣人事や「荻窪会談」、「荻外荘会談」などの重要な会議をこの荻外荘で行いました。その後、昭和35年に東側の玄関棟と客間棟が豊島区内へ移築されます。

豊島区に移築された荻外荘は今日まで大切に使用されており、創建当時の柱や梁などの構造部材だけでなく外壁の腰壁、瓦や基礎の石、長押などの造作材や建具、タイルや天井材などの仕上材に至るまで再利用されています。特に応接室は創建当時の天井絵が残されており、応接室の床に張られた龍模様の敷瓦も玄関ポーチに転用されています。



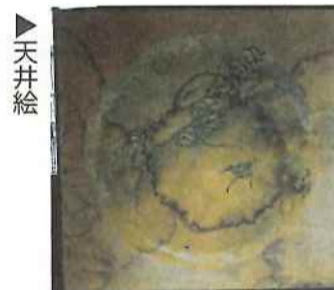
▲豊島区内の荻外荘全景



▶廊下



▶応接室



▶天井絵



▶龍模様の敷瓦

荻外荘の史跡としての価値を一層高めるべく現在、上記で紹介した豊島区内にある荻外荘の建物を丁寧に解体し、再び荻窪の地に復原するため、解体部材を保管庫内に収容する工事を行っています。



▲荻窪の荻外荘 保管庫設置の様子

再び荻窪の地で
荻外荘の復原・整備に向けて

「三庭園めぐりと春の催し」イベント案内

【日時】平成31年3月30日(土) 10時～15時30分

【メイン会場】(仮称)荻外荘公園南側敷地 (荻窪2-43-36)

【内容】ミニコンサート
・みんなで遊ぼう 昔あそび(けん玉、紙芝居など)
・スケッチ大会(荻外荘のスケッチ)
・荻外荘のパネル展示

【その他】大田黒公園・四季の写真の展示

【会場】角川庭園・詩歌館2階の開放

【主催】一般社団法人すぎなみ文化協会 荻窪部会

【共催】杉並区都市整備部みどり公園課

【協力】西田商店会・松浜自治会・

シャレール荻窪・荻窪東町会



荻外荘の復原・整備にご協力をお願いします。

荻外荘の復原・整備をはじめとする(仮称)荻外荘公園の整備では皆さまからの寄附を募集しています。

皆様のご協力をお願いいたします。
寄附は便利なふるさとチョイスで



インターネットにアクセス

ふるさとチョイス 杉並区 検索